

関門 ノスタルジック 海峡

ノスタルジック



日本遺産

関門"ノスタルジック"海峡

～時の停車場、近代化の記憶～

旅のガイドブック



JAPAN HERITAGE

日本遺産

日本遺産ロゴについて

佐藤卓氏が作成したロゴマーク。日の丸は日本を表し、その下の繊細な線の集合は、よく見ると「JAPAN HERITAGE」の文字が浮かび上がります。線が集まって「面」を形作る。一つひとつをつないで点から線へ、そして面で捉える「日本遺産」を表しています。

日本遺産とは

日本遺産 (Japan Heritage) は地域の歴史的な出来事や伝承、風習などを1つのストーリーとしてまとめ、文化庁が認定したものです。ストーリーを語る上で欠かせない魅力あふれる有形や無形の文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用しています。

世界遺産や指定文化財との違いは、点ではなく、面での認定であることです。指定文化財でいえば、例えば「城郭」は史跡、「甲冑」は国宝というように、文化財を「点」として扱っています。世界遺産への登録や文化財に指定することは、対象に価値を付加し、ユネスコや国からの保護を担保することが目的です。

一方で日本遺産は既存の文化財そのものに付加価値をつけたり、保全のためのルールを設けたりするものではありません。地域に点在している「城郭」や「甲冑」

といった遺産を「～城で活躍した人々」のような1つのストーリーでまとめています。文化財をパッケージ化することで国内だけでなく海外へも戦略的に情報発信し、観光客を迎えるための環境を整備して、ストーリーに魅力を感じた人々が実際にその地域を訪れることで、地域の活性化につなげることを目的にしているのです。

平成27(2015)年4月に「近世日本の教育遺産群ー学ぶ心・礼節の本源ー」や「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～」などを含む18のストーリーが日本遺産に認定されたのを皮切りに、これまで日本中のさまざまな遺産や文化が認定されてきました。2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでに約100件が認定される予定です。





関門“ノスタルジック”海峡 認定ストーリー

～時の停車場、近代化の記憶～



プロローグ

関門地域を空から見下ろすと、本州と九州とが互いに手を伸ばし、今にも陸続きになりそうな地形が目に入ります。海峡を挟んだ両岸からは、山々が海にせり出すように対峙し、そこからは大型のタンカーや旅客船が途切れることなく往来する海峡 景観とレトロな近代建築が建ち並ぶ街並みを望むことができます。

関門海峡沿岸は、明治から昭和初期にかけて共に急速な発展を遂げ、当時最先端の意匠と技術で建てられた近代建築が現代の街並みの中で大切に残されています。密接な交通網で結びついた海峡兩岸の港町は、渡船や海底トンネルを使って気軽に巡ることができます。

関門海峡の歴史地理的位置

古代以来、官道や主要な街道は関門の地で結びつき、多くの人や物資の交流が行われてきました。瀬戸内海と日本海との結節点でもある関門海峡は、陸路と海路の十字路を形成し、幕末には外交や通商を迫るため、西洋諸国の黒船も通過するようになります。

その重要性を理解していた長州藩の志士は、海峡を封鎖し攘夷を実行しました。これを契機に下関戦争が起こり、日本が開国へと舵を切り、歴史の潮流を変えるターニングポイントとなったのです。



関門“ノスタルジック”海峡 認定ストーリー

～時の停車場、近代化の記憶～

国際港湾都「関門港」の開港と発展

下関戦争で大敗した長州藩は、元治元(1864)年、講和使節に高杉晋作を任命して講和を成立させ、下関港は事実上、開港しました。

海外との玄関口となった関門海峡には、幕府が英国との間で締結した大坂条約(慶応3=1867年)により洋式灯台が設置されることになりました。ブラントン率いる英国人技術者集団が海峡西側の六連島灯台と東側の部埼灯台を設計し、ともに1872年に初点灯され、日本の文明開化と関門海峡を照らし始めたのです。この双子の洋式灯台の灯に導かれて、江戸時代から北前船の寄港地であった下関港と、背後に筑豊炭田という石炭の一大供給地と若松という石炭中継地を抱えた門司港は、共に特別輸出港や大陸との定期航路の寄港地に指定され、国際港湾都市として一躍注目を集めることとなります。そのきっかけは、明治8年(1875)の横浜・神戸・上海間定期航路の就航であり、その後、朝鮮との貿易港指定を契機に、創業間もない大阪商船株式会社や日本郵船株式会社が進出しました。明治22年(1889)には九州鉄道の開通にともなって門司駅(現門司港駅)が設置され、陸上と海上運輸の集散地として賑わうようになります。

関門地域の国際的な重要性を逸早く見出した駐日英国公使アーネスト・サトウの提案により、明治34年(1901)、下関に英国領事館が開設され、その5年後には煉瓦造の下関英国領事館が建てられます。

明治後期から大正にかけて日本銀行をはじめとする金融、三菱や三井などの商社、鈴木商店の資本による食品工場群などの拠点が続々と関門海峡沿いに開設され、重厚な構造かつ当時最先端の意匠をもった近代建築が林立する街並みが形成されていきました。

また、この地域では、伊藤博文が春帆楼においてフグ食を解禁して以来、フグ刺しや鍋、唐揚げ、白子、鰯酒など様々なフグの食べ方を通して地元では幸福をもたらす「ふく」料理と呼ばれて親しまれているほか、海外航路の拡大に伴い、台湾から大量に輸入されたバナナの叩き売りはこの地域の名物となり、現代に伝えられています。

「海峡七路」の完成

昭和に入り、海峡の兩岸を海底で結ぶ関門鉄道トンネルの建設が計画され、昭和17年(1942)に下り線が、同19年(1944)年に上り線が開通します。この世界最初の海底トンネルの完成により、文字どおり「関門」として立ち塞がっていた海峡が、陸路によって突破されました。その後、車道・人道トンネルの開通、さらに関門橋の架橋により、関門海峡に「海峡七路」と称される多様な交通網が完成します。それまで陸上と海上交通の結節点としての役割を担ってきた関門地域は、本州-九州間の通過点となり、明治から昭和初期にかけての重厚な近代建築群がまるで時が止まったかのように残ることになりました。

関門ノスタルジック海峡～時の停車場、近代化の記憶～

関門海峡には、外国船がもたらした舶来文化が根付き、狭い海峡を外国船が行き交う景観の中に、日本が近代国家建設へ向け躍動した時代のレトロな建造物群が現在も大切に残されています。「海峡七路」を使って兩岸を巡れば、まるで映画のワンシーンに紛れ込んだような、ノスタルジックな街並みに出会うことができます。



旧秋田商会ビル(下関市)



旧門司税関(北九州市)



部埼灯台(北九州市)

関門“ノスタルジック”海峡 構成文化財一覧

～時の停車場、近代化の記憶～



音声ガイド
も楽しめるよ

構成文化財の
詳細はここを
チェック！



1 門司港駅(旧門司駅)本屋

国指定重要文化財(建造物)

門司駅の2代目駅舎として、大正3(1914)年に建築された木造モルタル塗の建物。



福岡県北九州市門司区西海岸1-5-31

2 旧JR九州本社ビル

未指定(建造物)

門司港に進出した三井物産の三代目にあたるオフィスビル。
門司における近代化のプロセスを示す合理主義に基づいた建造物。
昭和12(1937)年竣工。



福岡県北九州市門司区西海岸1-6-2

外観のみ
見学可

3 門司郵船ビル(日本郵船門司支店)

未指定(建造物)

日本郵船門司支店として建てられた、門司港駅(旧門司駅)の正面にあるオフィスビル。
鉄筋コンクリート造4階建。
昭和2(1927)年に竣工。
現在は門司郵船ビルとして機能している。



福岡県北九州市門司区港町7-8

4 北九州市旧大阪商船

国登録有形文化財(建造物)

大正6(1917)年に竣工した木造、一部煉瓦型枠鉄筋コンクリート造2階建の大阪商船の社屋。
門司港を大陸航路の一大拠点とした。



福岡県北九州市門司区港町7-18

5 旧門司三井倶楽部 本館、附属屋

国指定重要文化財(建造物)

門司に進出した商社・三井物産門司支店が接客や宿泊用に建設した施設。
木造2階建、大正10(1921)年竣工。
北九州における大正期の近代化を示す建物。



福岡県北九州市門司区港町7-1

外観のみ
見学可

6 ホーム・リング商会

未指定(建造物)

明治の日本の貿易に大きく貢献した、イギリス人貿易商が長崎で設立した会社「ホーム・リング商会」の系譜を受け継ぐ、淡い色使いが印象的な建築物。昭和37(1962)年竣工。



福岡県北九州市門司区港町9-9

構成文化財一覧

7

きゅうだいれんこうろ うわ や
旧大連航路上屋
未指定（建造物）

中国・大連をはじめ、世界各地を結ぶ国際航路の旅客ターミナルとして建てられた。昭和4（1929）年竣工。



福岡県北九州市門司区西海岸1-3-5

8

きたきゅうしゅうぎんこうもじしてん
北九州銀行門司支店
きゅうよこはましょうぎんぎんこうもじしてん
(旧横浜正金銀行門司支店)
未指定（建造物）

貿易融資や外国為替を専門に扱った横浜正金銀行の支店。鉄筋コンクリート造2階建。昭和9（1934）年竣工。



福岡県北九州市門司区清滝2-3-4

9

さんきろう
三宜楼
未指定（建造物）

経済発展を遂げた門司港を代表する大型旅館。現存する料亭の建屋としては、九州最大の木造3階建。昭和6（1931）年竣工。



福岡県北九州市門司区清滝3-6-8

10

きゅうしゅうてつどうきねんかん きゅうきゅうしゅうてつどうほんしゃ
九州鉄道記念館(旧九州鉄道本社)
国登録有形文化財（建造物）

明治21（1888）年に設立された九州鉄道の本社屋。明治24（1891）年竣工。



福岡県北九州市門司区清滝2-3-29

11

もじくやくしよ
門司区役所(旧門司市役所)
国登録有形文化財（建造物）

モダンな外観デザインを有する旧門司市庁舎。鉄筋コンクリート造3階建。昭和5（1930）年竣工。



福岡県北九州市門司区清滝1-1-1

12

きゅうも じげいかん
旧門司税関
未指定（建造物）

門司税関が発足したのを契機に、明治45（1912）年に建設された税関庁舎。煉瓦造り瓦葺2階建。昭和初期まで税関庁舎として使用される。



福岡県北九州市門司区東港町1-24

外観のみ
見学可

13

いわたけいゆうたくおもや どぞう
岩田家住宅主屋、土蔵
北九州市指定有形文化財（建造物）

明治32（1899）年から門司港地区で酒類販売を行ってきた岩田家の店舗兼住宅。木造2階建。大正10（1921）年上棟。



福岡県北九州市門司区東本町2-6-24

14

せかいへいわ
世界平和パゴダ
未指定（建造物）

昭和33（1958）年、日本で唯一ミャンマー仏教に認められたミャンマー式寺院として門司の和布刈公園内に建てられた。第二次世界大戦の戦没者の慰霊や日本・ミャンマー両国の親善、世界平和を目的としている。



福岡県北九州市門司区門司3251-4

通常
非公開

15

もじこうじょう
ニッカウキスキー(株)門司工場製造場
きゅうだいいり しゅせいせいぞうしよ せいぞうじょう
(旧大里酒精製造所 製造場)
未指定（建造物）

鈴木商店が大正3（1914）年に創設した焼酎工場。当時は朝鮮や中国向けに輸出する焼酎を製造していた。



福岡県北九州市門司区大里元町2-1

外観のみ
見学可

16

もじこうじょうそうこ
ニッカウキスキー(株)門司工場倉庫
きゅうだいいり せいふんしよ そうこ
(旧大里製粉所 倉庫)
未指定（建造物）

鈴木商店が明治時代末に起業した大里製粉工場の倉庫。ニッカウキスキーの倉庫として今も使われ続けている。



福岡県北九州市門司区大里元町2-1

17

きゅう きゅうしゅうこうじょう
旧サッポロビール九州工場
じむしよとう じょうどうとう くみあいとう そうこ
事務所棟、醸造棟、組合棟、倉庫
国登録有形文化財（建造物）

明治45（1912）年に設立した「帝国麦酒株式会社」の工場として建設。事務所棟と醸造棟は大正2（1913）年竣工。



福岡県北九州市門司区大里本町3-6-1

18

へさきとうだい
部埼灯台
未指定（建造物）

旧暦明治5年1月（西暦1872年3月）に初点灯した灯台。関門海峡西口にある六連島灯台とほぼ同じ設計で、同じ時期に設置された双子灯台。



福岡県北九州市門司区大字白野江

構成文化財一覧

19

わかまつせぎたんかいかん
若松石炭会館
未指定（建造物）

迎賓館や会議室としても利用された、若松区に現存する最古の洋風建築。



福岡県北九州市若松区本町1-13-15

20

きゅうふるかわこうぎょうわかまつ
旧古河鉱業若松ビル
国登録有形文化財（建造物）

筑豊炭田で産出された石炭の中継地として栄えた若松を代表する近代建築。
煉瓦造2階建。
大正8（1919）年竣工。



福岡県北九州市若松区本町1-11-18

21

うえの きゅうみつびしごうがいしやわかまつしてん
上野ビル（旧三菱合資会社若松支店）
本館、倉庫棟、旧分析室ほか
国登録有形文化財（建造物）

筑豊からの石炭販売、運送業を担った三菱合資会社の社屋。本館は煉瓦造3階建て倉庫棟は煉瓦造2階建。
旧分析室は木造平屋建。大正2（1913）年竣工。



福岡県北九州市若松区本町1-10-17

外観のみ
見学可

22

とちぎ
朽木ビル
未指定（建造物）

造船と船舶代理業を行う朽木商事の本社ビル。当時としては珍しい半地下室、自家用浄化槽等を備える鉄筋コンクリート造3階建。大正9年（1920）竣工。



福岡県北九州市若松区本町1-15-10

23

りょうていぎんなべほんかん おもてもん
料亭金鍋本館、表門
国登録有形文化財（建造物）

若松の市街地に位置し、明治、大正期から営業していた多くの料亭の中でも著名な店のひとつ。本館は木造3階建。
現在の建物は、大正6（1917）年頃竣工。



福岡県北九州市若松区本町2-4-22

24

しものせきえき しんれい
下関駅の振鈴
JR西日本の登録鉄道文化財

JR下関駅開業当初から使われ続け、火災で焼失したと思われていた大型のハンドベル。



山口県下関市竹崎町4-3-1（下関駅内）

外観のみ
見学可

25

はちや
蜂谷ビル
きゅうとうようほけいかぶしきがいしよのせきしてん
（旧東洋捕鯨株式会社下関支店）
国登録有形文化財（建造物）

旧東洋捕鯨株式会社下関支店として大正15（1926）年に建設され、それ以来捕鯨活動の拠点となった建物。



山口県下関市岬之町13-7

26

やまくちぎんこう きゅうほんてん
山口銀行旧本店
山口県指定有形文化財（建造物）

明治9（1876）年に関門地域に進出した三井銀行が、下関支店として大正9（1920）年に新築した建物。昭和8（1933）年の百十銀行本店を経て、昭和19（1944）年から昭和40（1965）年まで山口銀行本店として使用された。



山口県下関市観音崎町10-6

27

ちゅうごくろうどうぎんこしものせきしてん
中国労働金庫下関支店
きゅうふどうちよんぎんざんこうしものせきしてん
（旧不動貯金銀行下関支店）
未指定（建造物）

下関側の銀行街に建てられた、画期的な免震基礎を持つ旧不動貯金銀行下関支店。
鉄筋コンクリート3階建、昭和19（1934）年竣工。



山口県下関市南部町21-23

28

しものせきなべちようゆうびんきょくちようしや
下関南部町郵便局庁舎
きゅうあかまがせきゆうびんでんしんきょく
（旧赤間関郵便電信局）
国登録有形文化財（建造物）

明治33（1900）年に竣工した煉瓦造2階建ての現存最古の現役郵便局舎。
金融業とともに関門地域でいち早く整備された通信事業を語る施設。



山口県下関市南部町22-8

29

きゅうあきたしょうかい
旧秋田商会ビル
下関市指定有形文化財（建造物）

木材や食料、薪炭などを海外に輸出する商社の社屋兼住居。
ドーム形屋根を持つ塔屋および屋上庭園が特徴。
大正4（1915）年竣工。



山口県下関市南部町23-11

外観のみ
見学可

30

かんもん きゅうかんもんぎせんかぶしきがいしや
関門ビル（旧関門汽船株式会社）
未指定（建造物）

門司港唐戸間の連絡船を運航する関門汽船株式会社昭和6（1931）年に建設した事務所ビル。



山口県下関市唐戸町6-2

構成文化財一覧

31

きゅうしものせきえいこくりょうじかん

旧下関英国領事館

国指定重要文化財（建造物）

英国領事館の施設として明治39（1906）年に建設された煉瓦造の建物。



山口県下関市唐戸町4-11

外観のみ
見学可

32

きゅうみやざきょうかん

旧宮崎商館

国登録有形文化財（建造物）

石炭輸出業を営む商館として明治40（1907）年に建設された建物。



山口県下関市田中町4-10

33

きゅうていしんしょうものせききょうびんきょくてんわかちょうしや

旧通信省下関郵便局電話課庁舎

（下関市立近代先人顕彰館/田中絹代ぶんか館）

下関市指定有形文化財（建造物）

電話需要の増加に応じて大正13（1924）年に通信省によって建設された建物。



山口県下関市田中町5-7

34

ふじわらよしえ きねんかん きゅう
藤原義江記念館(旧リングア邸)

国登録有形文化財（建造物）

瓜生商会の支配人子息、M・リングアのために昭和11（1936）年に建設された住宅。



山口県下関市阿弥陀寺町3-14

35

にっしん こうわ きねんかん
日清講和記念館

国登録有形文化財（建造物）

昭和12（1937）年に下関市が建設した日清講和会議や下関条約に関する記念館（下関市立歴史博物館分館）。



山口県下関市阿弥陀寺町4-3

36

ちょうしゅうはんしものせきままだいばあと
長州藩下関前田台場跡

国指定史跡

幕末に長州藩が築造し、四国連合艦隊下関砲撃事件の舞台になった台場の一つ。



山口県下関市前田1-7

通常
非公開

37

みつびしじゅうこうぎょうかぶしがいはしやものせきぞうせんしよ
三菱重工業株式会社下関造船所
第3ドック、第4ドック

未指定（建造物）

大正3（1914）年山口県下関市彦島に設立した造船所。第3ドックは大正11（1922）年竣工の石造で、第4ドックは大正5（1916）年竣工の石造。



山口県下関市彦島江の浦町6-16-1

通常
非公開

38

きゅうかねのつるみさきとうだい
旧金ノ弦岬灯台

下関市指定有形文化財（建造物）

明治4（1871）年に設置された関門海峡の礁標を大正9（1920）年に移築した灯台。平成12（2000）年に廃止されるまで、関門航路を照らした。



山口県下関市大字彦島金ノ弦岬

外観のみ
見学可

39

むつれしまとうだい
六連島灯台

下関市指定有形文化財（建造物）

大坂条約の約定に基づき関門海峡西端に設置された、R. H. ブラントン設計の洋式灯台。明治4年11月（1872年1月）に初点灯した。



山口県下関市六連島

通常
非公開

40

かんもんずいどう かんもんずいどう
関門隧道下り線 関門隧道上り線

未指定（建造物）

戦時中の日本軍に最優先事項の工事として位置づけられた、世界初の海底トンネル。



福岡県北九州市/山口県下関市

41

た た う
バナナの叩き売り

未指定（無形民俗）

大阪商船や日本郵船により台湾航路が確立し、安定して大量のバナナが関門港に輸入されるようになった。軽妙な売り口上による掛け合いは「バナナの叩き売り」として定着し、現在も関門の風物詩となっている。



福岡県北九州市/山口県下関市

42

りょうり
フグ料理

未指定（無形民俗）

伊藤博文が明治21（1888）年にフグ食を解禁。以来、地域の近代化とともに、郷土の代表的味覚として、多様な食文化を形作っている。また、素材のフグは、地元では「福」に通じる「ふく」と呼ばれ、親しまれる存在となっている。



福岡県北九州市/山口県下関市

関門“ノスタルジック”海峡 門司周遊コース

～時の停車場、近代化の記憶～



旧門司三井倶楽部 歴史文化財 5

きゅうもじみついくらぶ

大正10(1921)年に三井物産の社交場として建設され、大正11(1922)年には相対性理論で有名なアルベルト・アインシュタイン博士が宿泊。今は門司出身とされる作家・林芙美子記念室と観光案内所としても利用されています。1階のレストラン「三井倶楽部」では、ぶぐのフルコースや焼きカレーを楽しんで。

DATA

福岡県北九州市門司区港町7-1
☎093-321-4151
(門司港レトロ総合インフォメーション)
営業 9:00～17:00
休 なし



海峡プラザ

かいきょうプラザ

門司港レトロ地区の中心施設「海峡プラザ」。地元の実産物やお土産をはじめ、門司港名物の焼きカレー、バナナ叩き売り発祥にちなんだバナナスイーツなどの地元グルメを味わえるレストランもあります。レトロな雰囲気が漂うオルゴール専門店やガラス雑貨専門店など、雑貨店も見逃せません。

DATA

福岡県北九州市門司区港町5-1
☎093-332-3121
物販 10:00～20:00
飲食 11:00～22:00(店舗により異なる)
休 なし



北九州市旧大阪商船 歴史文化財 4

きたきゅうしゅうしきゅうおおさかしょうせん

大正6(1917)年に大阪商船門司支店として建設された建物です。外壁のオレンジ色のタイルと白い石の帯、八角形の塔屋が特徴で「港の美貌」と謳われました。

DATA

福岡県北九州市門司区港町7-18
☎093-321-4151
営業 9:00～17:00
無料
※わたせせいぞうギャラリーのみ
有料、大人100円 子ども50円
休 なし



旧門司税関 歴史文化財 12

きゅうもじぜいかん

明治45(1912)年に建設され、平成6(1994)年に赤煉瓦を使って修復・復原された建物。1階には休憩室や喫茶店「Frui Factory Moon de Retro」があり、2階の展望室からは門司港レトロが一望できます。

DATA

福岡県北九州市門司区東港町1-24
☎093-321-4151
営業 9:00～17:00
休 なし



ブルーウィングもじ

ブルーウィングもじ

全長約108m、全国で最大級の歩行者専用はね橋です。1日に6回、音楽に合わせて橋が上がります。橋が跳ね上がって閉じたのち、1番目に手をつないで橋を渡ったカップルは一生結ばれると言われ、「恋人の聖地」に選定されました。

DATA

福岡県北九州市門司区港町4-1
開橋時間
10:00 / 11:00 / 13:00 / 14:00 / 15:00 / 16:00
閉橋時間
10:20 / 11:20 / 13:20 / 14:20 / 15:20 / 16:20

関門“ノスタルジック”海峡

～時の停車場、近代化の記憶～

若松周遊コース



上野ビル (旧三菱合資会社若松支店) 精進文化財 21
 うえのビル きゅうぶんせきしつきゅうみつびしごうがいしゃわかまつしてん
本館、倉庫棟、旧分析室ほか
 ほんかん そう ことう きゅうぶんせきしつ

大正2(1913)年に三菱合資会社によって建てられた煉瓦造の建物です。天井にはめ込まれたステンドグラスや手摺に施された装飾などが見どころ。3階にはレトロなおしゃれな「Asa Cafe」があります。

DATA
 上野ビル
 福岡県北九州市若松区本町1 ☎093-761-4321
 無料 休なし
 Asa Cafe
 福岡県北九州市若松区本町1 3階
 ☎093-771-8700
 11:00～18:00(L.O17:00)
 休木曜日



旧古河鉱業若松ビル 精進文化財 20
 きゅうふるかわこうぎょうわかまつビル

大正8(1919)年に建てられた煉瓦造り2階建ての建物。ルネサンス様式の意匠が随所に光る建物内には煉瓦壁や階段など当時の面影が残っています。1階事務室で販売中の「丸屋」の天然酵母あんぱんは人気商品。

DATA
 福岡県北九州市若松区本町1-11-18
 ☎093-752-3387
 9:00～17:00
 無料
 休火曜日、年末年始



三日月屋
 みかづきや

石炭会館1階に入るクロワッサンの専門店。レトロな扉の先には職人が一つひとつ手作りで作り上げたクロワッサンやラスクなどが並んでいます。濃厚なバターの香りとパリッとした食感で、地元の人はもちろん観光客にも愛されている一品です。

福岡県北九州市若松区本町1-13-15 1F
 ☎093-771-7979
 9:30～19:00
 休なし



若松石炭会館 精進文化財 19
 わかまつせきたんかいかん

明治38(1905)年に石炭関係者をもてなす場所として建てられた、若松エリアに残る最古の洋館です。多彩な装飾が施されていた外観は現存していませんが、2階の事務室などには竣工時の特徴が残されています。

DATA
 福岡県北九州市若松区本町1-13-15
 無料



料亭金鍋本館 表内 精進文化財 23
 りょうていきんなべ

創業して今年で123年を迎える老舗の料亭。名物は開業当時から出している牛鍋で、伊万里牛のサーロインを八丁味噌で炊きます。明治の雰囲気を感じながら味わえるランチの懐石料理もおすすめ。

DATA
 福岡県北九州市若松区本町2-4-22
 ☎093-761-4531
 11:00～15:00、17:00～22:00
 休不定

関門“ノスタルジック”海峡

～時の停車場、近代化の記憶～

下関周遊コース



旧下関英国領事館 重要文化財 31
きゅうしもせきえいこくりょうじかん

明治39(1906)年に英国領事館として建設された煉瓦造りの建物です。1階は展示室とイギリスの雑貨やお菓子を販売するショップが入り、2階には喫茶・レストランがあります。ピーターラビットのオリジナルアフタヌーンティーで贅沢なひと時を。

DATA

📍 山口県下関市唐戸町
4-11
☎083-235-1906
🕒 9:00～17:00
🚫 火曜日(祝日は開館)



唐戸市場
からといちば

毎週末と祝日開催の「活いき馬関街」には19店舗の海鮮屋台やフクやマグロの専門店がずらり。寿司やフク料理、海鮮丼などの新鮮な魚介を使ったメニューが楽しめます。2階のテーブル席や屋上広場、外のウッドデッキで関門海峡を眺めながらどうぞ。

DATA

📍 山口県下関市唐戸町 5-50 ☎ 083-231-0001 (唐戸市場業者連協同組合)	🕒 市場 5:00～15:00(月～土) 8:00～15:00(日・祝) 活いき馬関街 10:00～15:00(金・土) 8:00～15:00(日・祝) <small>※営業時間は店舗により異なります。</small>
	🚫 不定



下関南部町郵便局庁舎 重要文化財 28
しもせきなべちようゆうびんきょくちようしゃ

現役の郵便局舎のなかでは日本最古の建物であり、下関に現存する最も歴史のある洋風建築物です。資料展示コーナーやカフェが併設されたギャラリー、中庭、コンサートや結婚式などに使えるイベントスペースがあります。

DATA

📍 山口県下関市南部町22-8
☎083-222-0161



旧秋田商会ビル 重要文化財 29
きゅうあきたしょうかいビル

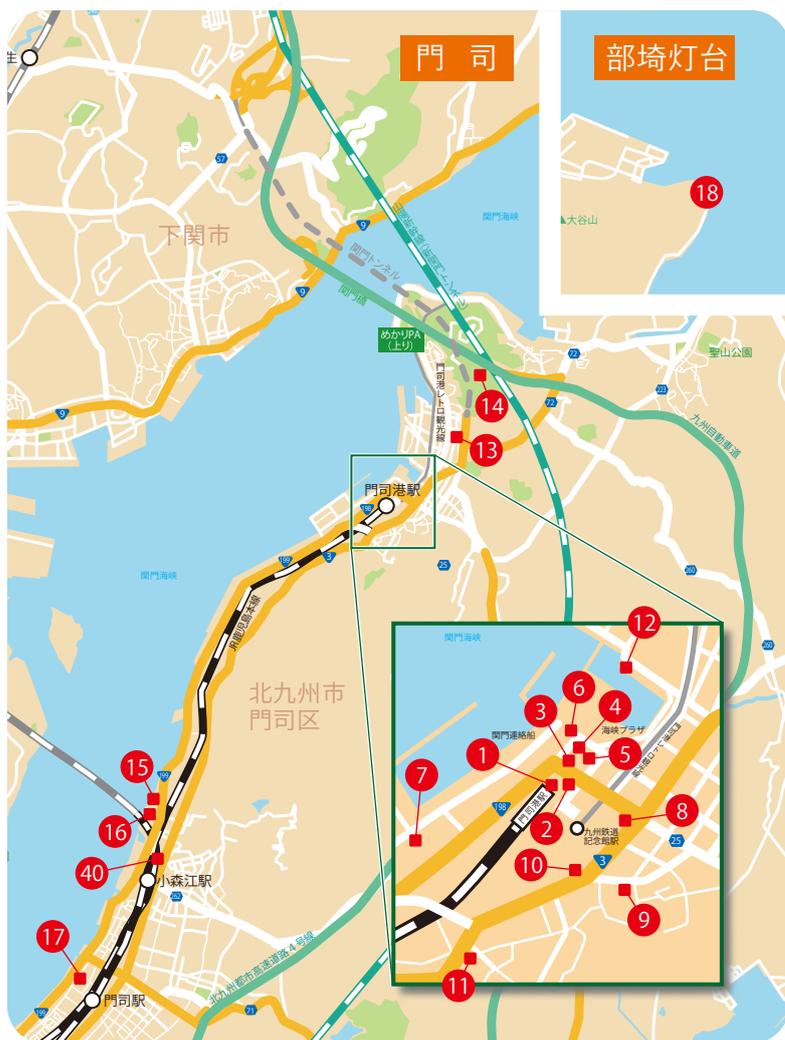
大正4(1915)年に建設された日本近代建築を代表する建物です。1階は純洋風の事務所があり、2階と3階には書院造の住宅、屋上には日本庭園を設けた和洋折衷の設計が特徴的。

DATA

📍 山口県下関市南部町
23-11
☎083-231-4141
🕒 10:30～15:00
🚫 火・水曜日



関門“ノスタルジック”海峡 エリアマップ



- 1 門司港駅(旧門司駅)本屋
- 2 旧JR九州本社ビル
- 3 門司郵便ビル(日本郵船門司支店)
- 4 北九州市旧大阪商船
- 5 旧門司三井倶楽部 本館、附属屋
- 6 ホーム・リンク商会
- 7 旧大連航路上屋
- 8 北九州銀行門司支店(旧横浜正金銀行門司支店)
- 9 三宜楼
- 10 九州鉄道記念館(旧九州鉄道本社)
- 11 門司区役所(旧門司市役所)
- 12 旧門司税関
- 13 岩田家住宅 主屋、土蔵
- 14 世界平和パゴダ
- 15 ニッカウキスキー(株)門司工場製造場(旧大里酒精製造所製造場)
- 16 ニッカウキスキー(株)門司工場倉庫(旧大里製粉所倉庫)
- 17 旧サッポロビール九州工場事務所棟、醸造棟、組合棟、倉庫
- 18 部埼灯台
- 19 若松石炭会館
- 20 旧古河鉱業若松ビル
- 21 上野ビル(旧三菱合資会社若松支店)
- 22 朽木ビル
- 23 料亭金鍋本表、表門



- 24 下関駅の振鈴
- 25 蜂谷ビル(旧東洋捕鯨株式会社下関支店)
- 26 山口銀行日本店
- 27 中国労働金庫下関支店(旧不動貯金銀行下関支店)
- 28 下関南部町郵便局庁舎(旧赤間関郵便電信局)
- 29 旧秋田商会ビル
- 30 関門ビル(旧関門汽船株式会社)
- 31 旧下関英国領事館
- 32 旧宮崎商館
- 33 旧逓信省下関郵便局電話課庁舎(下関市立近代先人顕彰館/田中絹代ぶんか館)
- 34 藤原義江記念館(旧リンガー邸)
- 35 日清講和記念館
- 36 長州藩下関前田台場跡
- 37 三菱重工業株式会社下関造船所第3・第4ドック
- 38 旧金ノ弦岬灯台
- 39 六連島灯台
- 40 関門隧道下り線 関門隧道上り線





制作：関門海峡日本遺産協議会

事務局

北九州市 市民文化スポーツ局 文化企画課 093-582-2391

下関市 教育委員会 文化財保護課 083-254-4697

